



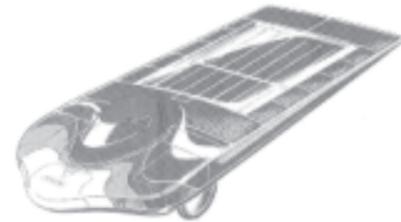
君もソーラーカーをつくってみよう

市民環境大学

夏休み親子『新エネルギー教室』 参加者募集

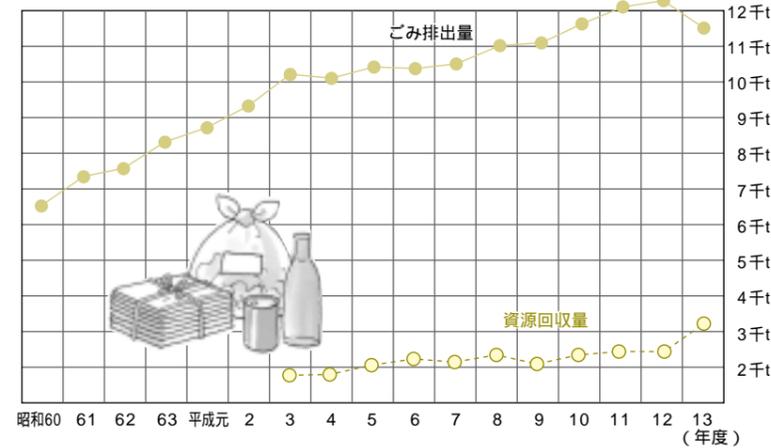
新エネルギーについて、子どもたちが興味をもって取り組めるように、若手漫才師ダムダムダンにより分かりやすく解説する「新エネルギー教室」を行います。

「新エネルギー教室」では、地球温暖化防止につながるクリーンで無尽蔵である太陽光や風力などの新エネルギーについて学ぶとともに、太陽電池を使用したソーラーカー模型をみんなで作る『ソーラーカー工作教室』を行います。



- 日時** 8月11日(日)
午前の部 午前10時～正午
午後の部 午後1時～3時
- 場所** 中央公民館 視聴覚室
- 定員** 各先着80名ずつ
- 対象** 町内在住、在勤、在学の方
- 申込方法** 参加申込書の提出または、電話で参加区分・参加者の代表者氏名・参加人数・電話番号をご連絡ください。
- 参加料** 無料
- 主催** 近畿経済産業局、播磨町、(財)新エネルギー財団
- 申し込み** 産業生活課 ☎0794(35)2364
- 備考** 小学3年生以下の子どもは、親子でご参加ください。小学4年生以上は、子どものみでも参加できます。

年間ごみ排出量と資源回収量の推移



ごみ減らそう会



世話役 毛利 豊さん

快適で便利さを追求する私たちの消費生活が、多くの「ごみ」を生み出しています。そして、このような生活様式が限られた資源を浪費し、これが多様な環境破壊を引き起こす原因となっています。『ごみ減らそう会』では、なるべく多くの方に入会していただき、増え続ける「ごみ」の減量方策を考えることにより、地球温暖化などの環境問題を考えていただけの機会になればと思います。

増加する一方である「ごみの量」を減らすには、どのようなことをすれば良いのか? を目的として、この度、三十二名の方々に「播磨町ごみ減らそう会」が結成されました。播磨町では、毎年、約一万二千トンのごみが出され、これを処理するために四億数千万円の費用がかかっています。また、ごみ処理後に残る焼却灰などの埋立用地も残り少なくなっており、今後は、これまでの「資源ごみの分別」と並行して、「ごみ排出量の減量」に取り組む必要があります。ごみ排出量の減量は、現在、もつ

「ごみを増やすのも減らすのも私たち。環境を考え、私たちにできる「ごみの減量」を考えてみませんか。この度、ごみの量を減らすためには、どのようなことをすれば良いのか? をテーマとした『播磨町ごみ減らそう会』が結成されました。多くの皆様のご参加をお待ちしています。」

『播磨町ごみ減らそう会』が結成 ごみの減量を一緒に考えよう！

とも大きな環境問題である「地球温暖化問題」を解消する大きな方策ともなります。

『播磨町ごみ減らそう会』は、このような趣旨により今後の活動を行う予定です。限られた貴重な資源を大切にしたいと思われる方、子どもたちの未来をより良い環境にしたいと思われる方、いつでも、どなたでも、参加することができますので、多数のご参加をお待ちしています。

活動は、主に中央公民館において、一、二カ月に一度程度の検討会の開催とごみ処理施設の見学会などを予定しています。

参加希望者は、住所、氏名、電話番号を、産業生活課までご連絡ください。
☎0794(35)2364

喜瀬川の一斉清掃を実施

七月七日(日)は、『喜瀬川美化の日』

七月七日(日)、播磨町自治会連合会主催による喜瀬川の一斉清掃が行われました。播磨町自治会連合会は、昨年五月の総会で七月第一日曜日を「喜瀬川美化の日」とし、一斉清掃は今年で二回目。ボランティアによる約千人の参加者が、ごみ拾いや河川敷に植えられた植栽の草引きに汗を流されました。一時間ほどの清掃で集められたごみは約六ト。予想以上のごみの量に参加者も驚くほど。

たいですね。また、私たちにとっても住みよい地域づくりに少し貢献できたかな。」と笑顔で話されました。

参加者の一人は「川でうなぎを見つけてびっくり！可憐な花も咲いていましたよ。これらの水生生物や植物を守り



真剣に作業をされる参加者たち

喜瀬川美化に関する決議

播磨町の中央を流れる喜瀬川は、ふるさとの川モデル事業により、美しく見事に生まれ変わった。季節の移り変わりを現し、住民に安らぎを与えるまちのシンボルであり、財産でもある。この美しさを保ち、安心して見守ることができるよう、住民一人ひとりの心に喜瀬川を大切に思う思いを育まなければならない。よって、播磨町自治会連合会は、毎年七月第一日曜日を喜瀬川美化の日と定め、多くの住民と一体となって、心のこもった美化活動を実施する。